

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス Wish宮の森			公表日	令和 8年 3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		利用定員に対し広く活動等に取り組める構造としている	利用人数や活動希望等に沿えるよう、適時対応を行う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		子どもの数に対し、一対一に近いスタッフ数を配置し、集団支援の中であっても個別に対応が出来る環境となっている	利用人数に応じて職員増員を検討する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動や遊びの内容・目的に応じて使用する部屋を変えするなどとともに、スケジュール等においても視覚的に理解しやすいよう環境を整えている	こどもの特性等に応じて安全・安心して過ごしていただけるよう努める
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々の清掃・消毒を行い清潔を保たれるよう努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		特性や状況に応じて個別で過ごすことが出来るよう職員体制を含め環境を整えている	こどもの特性、その日の様子等に応じて安心して過ごしていただけるよう努める
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		活動等の目的の共有を図り、達成に向けた取り組みとなるよう都度打ち合わせの機会を設けている	各業務等を形骸化させないよう引き続き検討を行う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度評価表での意見収集を行い、事業所の不足点の確認を行うとともに適時改善への検討・調整を行っている	保護者からの意見・意向を踏まえ事業所運営をすすめる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務開始時及び終了前に振り返りの時間を設け、意見等の確認の機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者の機関による評価機会は設けていない	同系列の事業所との情報共有等を通じて業務改善の検討機会を設ける
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて内・外部の研修機会を設けている	各職員が希望に応じた研修への参加が出来るよう対応する
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		H Pにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		利用開始時また支援計画の見直し時等にこどもの様子の確認等を行うとともに事業所での様子をふまえて支援計画を作成している	こどもや保護者の希望に沿えるよう、継続して対応する
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日々の振り返り等の機会のほか、支援計画の見直し時にスタッフ間での情報共有の機会を設けている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画の策定時に確認が出来るよう整えるとともに、必要に応じて確認が出来るよう保管している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		画一化した様式にて取りまとめを行っている	療育等への情報収集を行い、情勢等に応じた捉えが行えるよう努める
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		各項目において個別支援計画にて記載をしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		各活動毎に担当スタッフを設けるほか、内容等の検討・調整を適時行っている	継続して対応するとともに、活動内容がより充実したものとなるよう努める
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		日ごとに活動内容を変更するほか、同一活動においても様々な内容に取り組めるよう検討・実施している	継続して対応するとともに、活動内容がより充実したものとなるよう努める

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動の機会をそれぞれ設け支援を行うとともに、集団活動においても個人の課題点に留意したサポートを行うよう努めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の打ち合わせでの確認・周知のほか、予定共有を行い事前に確認が出来るよう対応している	充実した支援や事故等の防止を図るよう、引き続き対応する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		各サービス提供後に振り返りを行い、情報共有を行い、多角的にこどもの状況を把握出来るよう努めている	こどもの理解を深められるよう、引き続き対応する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用の都度記録を行い、支援計画作成時等に振り替える情報ツールとしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		規定期間以内に必要手順において支援計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて会議等に参画、原則として児童発達管理責任者が対応している	状況等をふまえ、適時児発管以外の参画機会を検討する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて各機関との連携を図っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて各機関との連携を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者等からの求めに応じて対応を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域コーディネーターの定期的な訪問にて情報共有とともに助言を受けられる機会を設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	機会は設けていない	保護者の希望等、必要に応じて検討を行う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等に情報共有を行うほか、利用毎に写真等の共有を行っている	共通理解を深められるよう適時対応を行う
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の求めに応じて面談等をはじめ認識の共有等を図る機会を設けているが、家族参加の研修機会は設けていない	保護者の希望に沿いながら研修機会等を検討する
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に重要事項説明書・契約書等をもとに説明を行っている	保護者等に不明点が無いよう対応する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の見直し時にこどもの変化等の意見や支援に関する希望等を聞き取り支援計画を作成している	より良い支援に繋がるよう対応する
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談等の機会を通じて提示を行い、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画の見直し時等に確認を行うほか、適時連絡をいただけるようはたらきかけている	相談をいただきやすい関係・環境作りに努める

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会の実施は無いが、保護者や兄弟が見学・参加出来るイベントの開催を行った	保護者・兄弟の参加可能なイベント等の検討を行う
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		連絡をいただく毎に迅速に対応するよう努めている	相談をいただきやすい関係・環境作りに努める
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		お便り等にてイベントのお知らせなどを行っているほか、保護者との連絡にチャットアプリ等を活用している	保護者との連絡を密にするとともに、事業所理解を広げられるよう発信機会を増やす
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書棚にて保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて対応を行う	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域交流の機会は設けていない	地域イベントの参加・実施を検討する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルについて事業所内に閲覧可能な保管をしている	保護者等への周知の観点を高め対応に努める
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定済みのBCPに準じて対応している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に確認をするとともに、状況の変化があった際に共有をいただいている	子ども・保護者に安心をいただけるよう安全を重視し努める
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始時に確認し、必要に応じて対応している	子ども・保護者に安心をいただけるよう安全を重視し努める
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		策定済みの安全計画に準じて対応している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時等のマニュアルに沿って対応を行うこととしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		打ち合わせ時等の機会を通じて報告・検討を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		主に内部研修として機会を設け、セルフチェック等を行い認識を確認出来るよう対応している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		指針によって対応基準を定めるとともに、対応の可能性がある場合においては予めその旨を支援計画に記載し同意を得ている		